やこう

学校だより　令和５年度７月号

令和５年６月３０日
横浜市立矢向小学校
ホームページアドレス
www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/

今年も始まった本物との出会い

校長　沼田　留美子

目下、校長室は甘く芳醇な香りでいっぱいです。５年生を対象にした JA の方による出前授業で、今が旬の「梅」を使った体験活動を行いました。本場、和歌山県から届いた「紀州の梅」を身近なファスナー付きのビニール袋に入れ「梅ジュース」と「梅干し」づくりに挑戦しました。しばらく熟成させるために、一番安全な場所として校長室に白羽の矢が立ち、梅がたくさん保管されています。ひと月ほど塩漬けにした後、外に干し、梅干しができあがります。梅自体はすぐに熟してしまい、日持ちがしませんが、ジュースにしたり、干したりすることで保存食として長く味わうことができます。これも先人の知恵だと深く感じ入りました。産地出身の職員ならではの、その土地の伝統や産物を大事にする姿、言葉から、日本のよさが子どもたちの学びを通じ、後世に引き継がれていく尊い時間でした。

矢向小学校で育てる資質・能力は「主体的に行動する力」です。子どもたちが主体的に行動するために、「三本（本気、本音、本物）の矢で目指す探究的な学びの実現」をテーマに授業研究を行っています。

「失礼します」「今お時間にいいですか」という元気な声とともに、毎日いろいろな学年、学級の子どもたちが校長室にやってきます。昔の資料、写真を見に来たり、学校に関する質問をしたりして帰っていきます。何度も来ては繰り返し問いかけることで、自分の学びを深めています。「私たちは、総合的な学習で・・・」と、質問や来室の理由を語り始める子もいます。人、もの、こととのつながりがここでも見られます。そう遠くない時期に子どもたちはさらに本物を目指し、地域にも飛び出していくこととなるでしょう。

６月１８日で矢向小学校は創立８０周年を迎えました。今年は創立８０周年を踏まえた各教科等の単元構想もたくさん見られます。いろいろなことに何度も挑戦し、問いかけ、振り返ることを繰り返すことで、新しい問いの発見にもつなげています。学習が自分事になることで、いつの間にか本気で自分の考えるゴールに向けて取り組んでいくたくましさも育っていきます。「本気、本音、本物」に触れながら、今までつけた学びの力を総動員し、矢向小の子どもたちは地域や保護者の皆様のお力添えをいただきながら、多様で複雑化した未来の世の中を生き抜く力を蓄えていきます。

「本気」の学びと言えば、６月２０日に交通安全教室が開催されました。警察や交通安全協会、校外委員、保護者ボラティアの皆様のご協力も得て、「本物」の道を見立てたコースで、道路の歩き方、自転車の乗り方などを実践しました。矢向のまちは路地や踏切、線路があり、危険な個所もあります。「自分の命は自分で守る」ことを真剣に学びました。もうすぐ夏休み。身に付けた力を総動員して、長い休みだからこそ経験できることにとり組めるチャンスです。安全に気を付け、たくさんの本物に触れ、一回りたくましくなって学校に戻ってくることを願っています。